

会 議 の 要 旨 （ 議 事 録 ）

会 議 の 名 称	令和5年度第1回鳥栖市図書館運営協議会		
開 催 日 時	令和6年2月16日(水) 13:30～16:00	開 催 場 所	鳥栖市立図書館2階 視聴覚室
出 席 者 数	委員8人 事務局6人	傍 聴 人 数	0人
議 題	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度経過報告及び今後の予定について (3) その他協議報告事項について		
配 布 資 料	鳥栖市図書館運営協議会設置条例・鳥栖市図書館運営協議会規則 鳥栖市図書館運営協議会委員名簿 鳥栖市立図書館要覧2022（令和4年度〔第55期〕報告書） 令和5年度鳥栖市立図書館事業経過報告及び今後の予定 その他協議報告事項		
所 管 課	（課名）生涯学習課 図書係 （電話番号）85－3630		

議 事 録	●事務局（牛嶋課長兼館長） ・開会 ・教育長のあいさつ 2 議 事 ○委員長により議事進行 議題（１）令和４年度事業報告について ●事務局 資料「鳥栖市立図書館要覧２０２２（令和４年度〔第５５期〕報告書）」に基づき説明。 ○委員 トークショーの際に貸出へ行っているが市民協働課の要請で行ったのか ●事務局 トークショーにあわせて、消費生活資料を揃えた。市民協働課の要請があったため ○委員 資料 13P の利用者数、貸出冊数を見てみると、高齢者向けのサービスをしたほうが良いのではないかと。また、図書館で難しいようであれば生涯学習課で高齢者向けのサービスを行ってはどうか。 ●事務局 61 歳からの利用割合が多く占めている中で、今後図書館のあり方、改めて事業の見直しを考えたい。 ○委員 中学生の利用状況の中で低い状況にあるが、押しの本のイベントがあると面白い。 P15 登録者の人数は上がっているのに、貸出冊数は下がっている理由は ●事務局 コロナも下火となり、遠出をするようになったのではないだろうか。また登録者数は、累計のため全く利用しなくてもカードを廃止しない限り増加していく。 ○委員 来館者も増えている。 ●事務局 文化会館で、大きなコンサートなど事業が再開されているため。 ○委員 小学校に勤務していて、子ども達が本を読まなくなったと実感している。ユーチューブをよく見ている。小学校の課題となっている。
-------	--

議題（２）令和５年度経過報告及び今後の予定について

●事務局

資料「令和５年度鳥栖市立図書館事業経過報告及び今後の予定」に基づき説明。

質問なし

ご意見はございませんか。なければ議題（３）について、事務局より説明願います。

議題（３）その他協議報告事項について

●事務局

資料「その他協議報告事項」に基づき説明。

学習コーナー設置、防犯カメラ増設工事、子ども読書活動推進進捗状況、公衆無線 LAN の設置の説明。

○委員

学習コーナーの利用の利用状況はどうか。

●事務局

三期休業中は、平日でも利用が多く２階の学習コーナーを利用してもらっている。

○委員

来年度の園田名誉館長の講演会については、鳥栖市立小中学校はもう全部終わっていると思うので、前回の意見にもあったが香楠中学校でも開催してほしい。

●事務局

今年度予定していたが、日程調整ができなかった。

○委員

ボランティア向けの読み聞かせ講演会を今年度行ってもらったが何回されているのか。１回開催だと日程が合わなくて参加できない。

●事務局

ボランティア向けの読み聞かせ講演会は、佐賀県主催でした。毎年佐賀県内の西、東で１回ずつ開催されていて、今年度希望し、鳥栖で開催されたところ、来年度も希望する予定。

○委員

以前、読み聞かせのボランティアで企画したが参加者がいなかった。子育て中のお母さん方に参加してほしいが。

○委員

子育て中の母という立場からの意見ですが、読み聞かせについて習わなくても自分のやり方でいいと思っている。また、子どものクラブチームへの送り迎え等忙しい。研修会ではなくて別の形であれば自分の空いた時間に見ることはできると思う。

○委員

情報発信は、SNS がマストになってきている。文化会館で事業が再開されたのであれば、文化会館で CM コーナーなど作れないか。

●事務局

文化会館で大きな事業があるときは、関連本などの特集展示を実施したい。

○委員

岩手県の事例では、図書館と同じ建物の中に「マルシェ」がある。りんごの売り場に図書関連本が置かれていて非常に珍しい。参考にしてください。

○委員長

子どもの読書活動推進計画の進捗状況についてのご意見はいかがですか。

○委員

アンケートの回答の方法について、回答は4択で作ってほしい。

アンケートの13.15など

このアンケートは、数年間取られ予定なのか。

●事務局

次回の子どもの読書活動推進計画の改定まで、と考えている。

○委員

昨年「若者の読書離れのウソ」という本が出版されたが、40年間の推移で全体では確実に本を読む数は増えている。雑誌は壊滅的になっているが、出版社が雑誌を出版しなくなっている。いろいろな世代が視野を広げるために図書館が提供できるもの、電子図書、従来型の紙の書籍、入口がなんであれそれから広がっていく。いろいろな世代が交流できる場所が少なくなっている。限られた予算・人員の中で、これから、ボランティアの力を組み込んでいくかが課題。

●事務局

来年度は、図書館システム改修も控えておりますので、いただいたご意見は来年度の図書館運営に

3 閉 会

○委員長

終わりのあいさつ

●事務局

閉会